

2023 年度 関私教協 第 10 回幹事校会議事録

1. 日時：2024 年 1 月 29 日（月）18:30～20:00

2. 形態：Zoom 会議

3. 出席者：

【幹事】高瀬 幸恵(桜美林大学・事務局長)、池田 賢市、高木 雅史(中央大学・事務局次長)、尾高 進(工学院大学・事務局次長)、小林 大祐(慶應義塾大学)、田村 真広(日本社会事業大学)、青木 研作(東京成徳大学)、後藤 正矢(多摩美術大学)、伊東 毅、谷川 美の理(武蔵野美術大学)、白石 一徳(文化学園大学)、森田 満夫(立教大学)、河村 久、田中 直樹(聖徳大学)、北村 篤司、横澤田 朋美(昭和音楽大学)、

山崎 真之[遠藤 克弥代理]、堀井 英一(東京国際大学)、新田 司(千葉敬愛短期大学)

【事務担当】岩井 瑞恵 (桜美林大学)

【オブザーバー】山本 美紀 (青山学院大学)、山本 敏子 (駒澤大学)、

大家 まゆみ 河野 誠哉 (東京女子大学)、

石田 好広、堀 崇一郎、吉岡 大地 (目白大学)、

斎藤 遼太郎 (茨城キリスト教大学)、

岡田 佳子、小澤 真紀、大室 さおり、山口 賢 (芝浦工業大学)、

黒岩 友見子 (桜美林大学)

4. 2023 年度第 9 回幹事校会議事録の確認

高瀬事務局長より、第 9 回幹事校会議事録 (案) が示され、承認した。

5. 協議

【報告事項】

(1) 研究部の活動について

- ・第 2 部会：11/30 に第 3 回の部会を実施した。教員採用試験の前倒しへの対応、教職課程の学生の実態などについて意見交換を行った。今後は教職課程の学生を対象としたアンケート調査の開発を行う予定。3 月上旬に対面で部会を実施する。
- ・第 3 部会：第 3 回の部会を 12/21 にオンラインで開催した。オンラインでの実地視察について、カリキュラム改革について報告があった。第 4 回の部会を 2/21 に対面で開催する予定。教員採用試験の前倒しを受けたカリキュラム改革をテーマとする。
- ・第 4 部会：1 月に部会を開催予定であったが、日程を変更して 3 月初旬に実施する予定である。
- ・第 5 部会：アンケート調査は 1 月末を締め切りとしている。その結果については 2/15 の部会で検討する。
- ・第 6 部会：11/24 に第 3 回の部会を開き、教育実習でのハラスメントの調査について、研究懇話会のことについて話し合った。12/22 に第 4 回の部会を開き、教育実習でのハラスメントの調査のまとめ方について協議した。現在、報告書を分担執筆しており、今年度中に紙媒体の報告書を作成し、会員校に送付する予定である。
- ・第 7 部会：1/24 に 4 回目の部会をハイフレックス形式で開いた。タイの教育視察について報告があった。次回は 3 月に数学科教育法の授業をテーマとして実施する予定。
- ・第 8 部会：2 月に部会を計画している。4 年制大学における二種免許状の課程の設置について取り扱う。課程の設置を検討している大学の事例報告を含めて実施したい。
- ・千葉・茨城地域：2/8 に研究会を予定している。文科省の教員養成企画室長を講師として招く。教員養成、採用、研修の各段階において大学に期待することを話していただく予定。
- ・神奈川・山梨地域：2/24 に協議会を対面で開催する予定。「コロナ禍以後の学校教育の現状と大学における教員養成への期待—教職課程の自己点検の充実にむけて」をタイトルとして、事例報告、全体討議を行う。
- ・北部地域：千葉・茨城地域が実施する研究会に加わり、共催という形にした。また、第 1 回の勉強会の記録を関私教協の HP に掲載していただきたい。

- (2) 2023 年度第 2 回研究懇話会報告について
- ・高瀬事務局長より、資料に基づき報告があった。参加者数は 84 名であった。
- (3) 『会報』第 95 号の編集について
- ・北村広報副部長より、資料に基づき『会報』第 95 号の構成と校正スケジュールについて報告があり、執筆担当者に依頼があった。
 - ・新田広報部長より、編集・発送を担当する未知の駅との打ち合わせを 1/23 に行った旨について報告があった。
 - ・高瀬事務局長より、『会報』のために作成される各部会と地域の報告の原稿については、定期総会の資料としても用いることについて説明があった。

【審議事項】

- (1) 2024 年度 幹事校・世話人の体制について
- ・高瀬事務局長より、資料に基づき 2024 年度の幹事校の担当について説明と依頼があった。教員は研究部、広報部のいずれかを担当すること、併せて部会の世話人を担当することについて、説明があった（職員は任意）。また、事務局次長校と研究部・広報部それぞれの副部長の選出が必要であることについても説明があった。次回の幹事校会で決定するため、事前に希望をアンケート調査することとし、これに回答するよう依頼があった。
 - ・高瀬事務局長より、資料に基づき 2024 年度の定期総会、臨時総会等の日程について確認があった。幹事校会の曜日・時間について要望がある場合は事務局に連絡するよう依頼があった。
- (2) 2024 年度 定期総会・合同研究大会への準備について
- ・高瀬事務局長と青木研究副部長より、定期総会と合同研究大会の計画について説明があった。合同研究大会については 1/24 に東教協と打ち合わせを持ち、全体的なスケジュールについて確認をし、テーマについて相談したことが報告された。
 - ・資料に基づき、開催の概要について承認した。今回の合同研究大会は関私教協が主導することになっており、テーマは「教員採用の早期化等の問題について」（仮題）に決定した。
- (3) 未加入校への呼びかけについて
- ・高瀬事務局長より、資料に基づき説明があった。呼びかけの候補となる大学があれば、2 月の幹事校会で提案して欲しい旨の依頼があった。
- (4) 『会報』製作の予算について
- ・高瀬事務局長より、これまで『会報』製作の予算を 60 万円としていたが、物価や輸送費の高騰があることから、65 万円の予算とすることが適切であることが提案された。審議のうえ、これを承認した。
5. その他
- (1) 各部、各部会の活動費の精算について
- ・高瀬事務局長より、部長、世話人に対して 3 月末までに出納簿、領収書、残金について報告するよう依頼があった。この件については改めて事務局より連絡する予定である。
- (2) 今後の幹事校会の開催予定について
- ・3/25 の幹事校会は、17：00 から開始することとし、終了後に懇親会を持つ予定である。

【配付資料】

- 資料 1：2023 年度第 2 回研究懇話会開催報告
資料 2：『会報』第 95 号について
資料 3－1：2024 年度関私教協役員大学担当表
資料 3－2：2024 年度関私教協幹事校会日程案
資料 4：2024 年度東教協との合同研究大会、東教協・関私教協定期総会の開催について
資料 5：未加入校一覧

以上